

2024(令和6)年度前期 法華コモンズ講座 4月より開講

## 開設講座一覧と受講の手引き

### 《 開設講座 》

- 集中講座「『日蓮遺文解題集成』の解説」全2回 **【対面&実況】**  
開催時間：土曜日 午後1時30分～5時30分 講師：山上 弘道  
第1回講義：4月 27日(土) / 第2回講義：6月 15日(土)
- 一日集中講座「韓国仏教の諸相」全1回 **【対面&実況】**  
開催日：5月 18日(土) 午後1時30分～5時30分 講師：佐藤 厚
- 「仏教哲学再考② —『大乘起信論』を手掛かりにⅡ—」全4回 **【オンライン講座】**  
開催日時：水曜日 午後6時30分～8時30分 講師：末木文美士  
第1回 4月 3日 / 第2回 5月8日 / 第3回 6月12日 / 第4回 7月3日
- 歴史から考える日本仏教⑩「中世の臨終行儀—摂関期から日蓮の時代へ」全4回 **【オンライン講座】**  
開催日時：火曜日 午後6時30分～8時30分 講師：菊地 大樹  
第1講 4月 16日 『往生要集』から往生伝へ—臨終行儀の原点—  
第2講 5月 14日 規範的な死—臨終行儀の理想—  
第3講 6月 18日 「正念」に失敗する—不安と臨終—  
第4講 7月 9日 臨終行儀書と日蓮・日蓮宗
- 一日集中講座「臨終行儀の今—変貌する死と儀礼—」全1回 **【対面&実況】**  
開催日：8月 31日(土) 午後1時30分～5時30分 講師：菊地大樹×大谷栄一
- 連続講座「『法華経』『法華文句』講義」全6回 **【対面&実況】**  
開催日時：月曜日 午後6時30分～8時30分 講師：菅野 博史  
第1回 4月22日 / 第2回 5月27日 / 第3回 6月24日  
第4回 7月29日 / 第5回 8月26日 / 第6回 9月30日

※受講申込は、裏表紙(12頁)の「受講申込みについて」よりお願いいたします

法華コモンズ仏教学林事務局

## 「再歴史化」の知的な拠点を創りましょう！ 理事長 西山 茂

戦前期に生きた田中智学は、日蓮仏教を近代日本に「再歴史化」（蘇生）するために、「祖道復古」と「国体開頭」および「宗門革命」（宗門の維新）の旗を掲げて日蓮主義の運動を主導し、複数の教学講習会を開いて、以後の日蓮仏教諸派の僧俗に多くの影響を与えました。

今回、私たちが11年間も続いた本化ネットワーク研究会を閉じて法華コモンズ仏教学林（門流や会派を超えた法華仏教の学び舎）を起ち上げたのも、法華仏教（日蓮仏教）を現代日本に「再歴史化」するためにほかなりません。

「再歴史化」の意味を深く考えるとすれば、それは普遍的な宗教真理は特殊的な歴史状況のなかに繰り返す「再歴史化」されなければ人々への説得力を失ってしまう、ということでしょう。

現代社会は智学の時代と違ってより複雑化しているだけでなく、教学や遺文の研究レベルも上がり、それだけ私たちが学ばなければならないことが多くなっています。こうしたことは、門流や会派が単独で法器養成等に取り組むことを非常に難しくしているといえます。そして、このような事態も、法華コモンズ仏教学林の誕生を促す要因となっているといえるでしょう。幸い、法華コモンズ仏教学林には、多彩で優れた講師陣が揃っています。

皆さま、この際、どうか法華コモンズ仏教学林の受講生となり、門流や会派の中垣を超えて法華仏教（日蓮仏教）の共通の智を学び、ともに仏国土づくりの聖業に邁進しようではありませんか。



## 皆様のご参加をお待ちしております！ 学林長 布施 義高

日蓮仏教の「再歴史化」を理念として、斯界に新たな地平を切り開いた、東洋大学名誉教授・西山茂先生主宰の本化ネットワーク研究会。また、日蓮聖人の実像や、壮大なスケールの思想の全体像を浮き彫りにすべく、日蓮門下が一丸となって編集され、平成27年全五巻の刊行完結をみた『シリーズ日蓮』（春秋社）。こうした画期的な成果を受け継ぎ、平成28年4月、西山茂先生を理事長、シリーズ日蓮刊行会会長・佐古弘文先生（同年11月御遷化）を副理事長に仰ぎ、法華コモンズ仏教学林が始動いたしました。

これから本格的に法華経や日蓮聖人を学びたい方の登竜門として、また、各教団が課題とする人材育成、次代の日蓮門下全体の隆盛へ向けての基礎作りの場として、さらには、より高みを目指す研究者の研鑽の場として、多様なニーズを満たせるよう、スタッフ一同、鋭意努力して参ります。

法華コモンズの主役は、これから参加される皆様お一人おひとりです。仏教界全体に、時代を先導し、光明を灯す力が求められている昨今、日蓮仏教（法華仏教）の立場から、世の期待に大いに応えていこうではありませんか。



## 法華コモンズ仏教学林 スタッフ紹介

### 【運営スタッフ】

- 理事長 西山 茂
- 学林長 布施義高
- 事務担当 澁澤光紀  
竹内敬雅
- 財務担当 竹内敬雅
- 総務担当 西條義昌／稲田隆広
- ブログ担当 林 明彦
- ツイッター担当 武川清明
- ビデオ班 竹内敬雅／神蔵寿観／林 明彦

### 【教学委員】

- 上杉清文
- 花野充道
- 菅野博史
- 寺尾英智
- 三輪是法

### 【講座担当】

- 末木先生講座 佐古弘純／波田地克利
- 佐藤先生講座 作田光照／谷口 智／運営スタッフ
- 山上先生講座 西山明仁／佐古弘純／運営スタッフ
- 菊地先生講座 武川清明／山名隆年／運営スタッフ
- 菅野先生講座 松永良樹／作田光照

## 【 講座会場 】

福聚山 常円寺 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-12-5 寺務所 ☎ 03 (3371) 1797

祖師堂 地階ホール (または日蓮仏教研究所の一階「学室」)

※講義は、【対面&実況】(会場での「対面講義」と「zoom オンライン実況」)、または【オンライン実況】で開講しています。講義の終了後には、「講義ビデオ配信(一か月間有効)」を行っていますので、日程が合わない方や遠方の方も「ビデオ受講」をすることが出来ます。

※諸状況で講義が延期・中止になった場合は、「受講料を返却」しております。

### 《会場への交通》

- JR線・小田急線・京王線・丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 新宿駅西口改札より徒歩6分
- 西武新宿線を利用の場合  
⇒ 西武新宿駅正面口改札より徒歩6分
- 大江戸線を利用の場合  
⇒ 新宿西口駅「D5出口」より徒歩3分
- 丸ノ内線を利用の場合  
⇒ 西新宿駅1番出口より徒歩4分



# 『日蓮遺文解題集成』の解説

講師： 山上 弘道 先生

第 1 回 **4月27日(土)** 開講：午後 1 時 30 分～5 時 30 分 (4 時間)

● 『日蓮遺文解題集成』の解説—I

第 2 回 **6月15日(土)** 開講：午後 1 時 30 分～5 時 30 分 (4 時間)

● 『日蓮遺文解題集成』の解説—II

## 【講義概要】

昨年 12 月に拙著『日蓮遺文解題集成』を上梓致しました。本書は日蓮の全遺文を「第Ⅰ類 真選遺文」「第Ⅱ類 真偽未決遺文」「第Ⅲ類 偽撰遺文」に分類し解説を加えたものですが、このたび法華コモンズ事務局からそれについての講義の依頼があり、二回に分けて集中講義を行うことになりました。

第 1 回講義では、まず総論として『日蓮遺文解題集成』の構成や目指したことなどを解説します。ついで「第Ⅰ類 真選遺文」について、『昭和定本日蓮聖人遺文』（以下『定遺』）に未収録の遺文を紹介し、また『定遺』の系年を変更した遺文を幾つか取り上げて解説します。さらに真蹟現存遺文で、『定遺』や『日蓮大聖人御真蹟対照録』の読みを変更したものについても紹介解説したいと思います。

第 2 回講義では、『日蓮遺文解題集成』の「第Ⅱ類 真偽未決遺文」「第Ⅲ類 偽撰遺文」について、その内の幾編かを取り上げ、真偽未決遺文とした理由、偽撰遺文と判断した理由などを解説する予定です。

なお当日レジュメを配布しますが、『日蓮遺文解題集成』をお持ちの方は持参していただければと思います。

《『日蓮遺文解題集成』の購入を希望される方は、郵便振替用紙にて申し込み下さい。》

●加入者名：記念出版委員会 ●郵便振替番号 01230-8-3272

1冊 13,000円 ・ 送料：1冊 500円 合計 13,500円

## 【講師略歴】

山上弘道（やまがみ こうどう）：一九五二年東京都出身。興風談所所員。

【日 時】 4月27日(土)、6月15日(土) / 開場：午後1時～、開講：午後1時30分～

【受講料】 2回分 7,000円 (1回 4,000円) ※対面、オンラインとも同額になります

# 韓国仏教の諸相

講師：佐藤 厚 先生

【講義日】 **5月18日(土)** 開講：午後1時30分～5時30分 (4時間)

## 【講義概要】

韓国の宗教といえば、旧統一教会問題、対馬仏像返還問題などマイナスイメージで語られることが多いですが、そんな中だからこそ韓国の宗教に関するバランスの取れた知識が必要とされています。本講義では「韓国仏教の諸相」と題して、①現代韓国の宗教状況、②韓国の仏教略史、③韓国の仏教信者について、日本の仏教との比較を通してお話します。ポイントは次の通りです。

- ①現代韓国の宗教状況：国勢調査とともに行われる宗教人口調査（2015年）では、1 プロテスタント、2 仏教、3 カトリックの順になっています。とくにプロテスタントとカトリックを合わせると韓国国民の4人に1人はキリスト教とになっています。どうしてこのようになったのでしょうか。
- ②韓国の仏教略史：古代から現代までの仏教の歴史を概観します。現在の韓国仏教の中心は曹溪宗という禅の宗派が中心です。日本のような多くの伝統宗派は存在しませんが、それはなぜでしょうか。また天台宗、真覚宗という宗派が第二次大戦以後に成立し教勢を伸ばしています。それらはどういう特徴があるのでしょうか。天台宗は日本とどのように違うのでしょうか。
- ③韓国の仏教信者：韓国は日本のような檀家制度はないので、「信仰していないのに仏教徒」である人は多くはありません。信仰している人の多くは仏に救いを求め祈り修行をします。それらは日本の仏教信者のあり方とは違います。どのように違うのでしょうか。少しでも皆様の新たな学びにつながることを願っています。

## 【講師略歴】

佐藤厚（さとう あつし）：1967年生まれ、東洋大学非常勤講師、文学博士（東洋大）。専攻は、華嚴学を中心とした韓国仏教、井上円了を中心とした近代日本仏教。著書には『はじめての韓国仏教：歴史と現在』（佼成出版社）、『現代語訳：仏教活論序論』（大東出版社）、論文には「韓国仏教信者の活動―祈祷と修行―」（『東洋学研究』58、2021年3月）、「絶対・相対の関係と『大乘起信論』―井上円了と清沢満之の解釈―」（『現代と親鸞』43、2020年12月）、「原坦山の東京大学仏教学講義」（『駒澤大学仏教学部論集』54、2023年）などがある。（「リサーチマップ 佐藤厚」で検索するといくつかの論文を読むことができます）

【講義日】 **5月18日(土)** / 開場：午後1時～、開講：午後1時30分～

【受講料】 1回 4,000円 ※対面、オンラインとも同額になります

法華コモンズ仏教学林 2024 年度 前期 連続講座 全4回

オンライン講座

## 仏教哲学再考② —『大乘起信論』を手掛かりに—

講師：末木文美士 先生

### 【講義概要】

『大乘起信論』は、東アジアの仏教全体に大きな影響を与えている。本講義では、『起信論』自体を読みこむというよりは、『起信論』が東アジアでどのように受け止められ、どのように変容したかを、真如・如来蔵・本覚などの概念の展開を含めて考える。張文良『《大乘起信論》思想史研究』（中国語。中国社会科学出版社、2020）を参考として、張氏が「方法としての《大乘起信論》」と呼ぶ方法により、『起信論』を手掛かりとして東アジア仏教思想を考えてみたい。

※1 学期 4 回の開催で、4 学期 16 回ほど連続講義の予定。テキストは岩波文庫版『大乘起信論』（宇井伯寿・高崎直道訳注）を使うので、受講者は事前に購入のこと。

### 【講師略歴】

末木文美士（すえき ふみひこ）：1949 年山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学博士。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授、未来哲学研究所所長。専攻は仏教学、日本思想。著書に『日本仏教史 思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、『仏教 言葉の思想史』（岩波書店）、『日蓮入門 現世を撃つ思想』（ちくま新書）、『思想としての仏教入門』（トランスビュー）、『『碧巖録』を読む』（岩波現代文庫）、『草木成仏の思想』（サンガ）、『冥顕の哲学 1、2』（ぶねうま舎）、『日本思想史』岩波新書、他多数。

【講義日】全4回 時間（原則・水曜日）：午後6時30分～8時30分（Zoom 配信）

第1回	（第5講）	2024年	4月	3日
第2回	（第6講）	//	5月	8日
第3回	（第7講）	//	6月	12日
第4回	（第8講）	//	7月	3日

【受講料】 1期4回分 8,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

※本講座は、オンライン実況講義のみでの開催です。後に動画配信もあります。

法華コモンズ仏教学林 2024 度 前期 連続講座全4回 **オンライン講座**

## 歴史から考える日本仏教⑪

# 中世の臨終行儀—摂関期から日蓮の時代へ—

講師： **菊地 大樹 先生**

### 【講義概要】

この講座は、歴史学の立場から日本仏教のさまざまな側面を継続的に考えてゆくことを目指します。これは言い換えれば、教理文献に残された思想を、それが著された時代の文脈の中で立体的にとらえなおす営みに他なりません。しかもひとつの時代は系譜となって、前後に長く連なってもいます。

そこで日蓮の生きた鎌倉時代をつねにどこかで射程に入れつつも、ときには原始古代にまでさかのぼり、また私たちの生きる近現代にも立ち戻って進んでいきたいと思えます。

2024 年度前期は、本覚思想や日蓮研究でも知られたアメリカの日本宗教史研究者、ジャクリーン・ストーンさんの『臨終正念』という著書を手掛かりに、「臨終行儀」について考えてみたいと思えます。

臨終行儀とは、死の床にある人に正念を保たせ浄土に導く儀礼で、宗派を越えて広がりました。死から目を背けがちであった近代になり、いったん途絶えますが、21 世紀の今日、〈死を通じて生を考える〉死生学の発展とともに、死をめぐる歴史文化遺産として再注目できるのではないのでしょうか。

『臨終正念』は英語の学術書で翻訳はなく、内容も詳細です。まずは史料や関連文献を紹介し、その概要を日本語で理解していきたいと思えます。ストーンさんは最初に源信『往生要集』に注目しますが、この時期は藤原道長が全盛期を開いた摂関政治の時代でもありました。

同時に源信のもとで往生伝が生まれ、摂関政治が陰りを見せて院政が成立してからも次々に往生伝が編まれました。さらに日蓮の活動した鎌倉時代以降、臨終行儀のマニュアルが浄土系だけではなく、日蓮宗でもまとめられていきます。

今回はこの時期までに焦点を当てつつ、「臨終行儀」の意味を考えていきましょう。

【講義日】全4回、時間（原則・第二火曜日）：午後6時30分～8時30分

第1講 4月16日 「往生要集」から往生伝へ—臨終行儀の原点— **オンライン講義**

第2講 5月14日 規範的な死—臨終行儀の理想— **オンライン講義**

第3講 6月18日 「正念」に失敗する—不安と臨終— **オンライン講義**

第4講 7月9日 臨終行儀書と日蓮・日蓮宗 **オンライン講義**

### 【講師略歴】

菊地大樹(きくち ひろき)：東京大学大学院修士課程修了。博士(文学)。現在、東京大学史料編纂所教授。著書に『中世仏教の原形と展開』(吉川弘文館、2007年)、『日本人と山の宗教』(講談社、2020年)、『吾妻鏡と鎌倉の仏教』(吉川弘文館、2023年)他。論文に「再考：持経者から日蓮へ」(『花野充道博士古稀記念論集』山喜房仏書林、2020年)、「環境と身体を結ぶもの」(『東アジア学術論集』11号、2023年)他。

【受講料】 1期4回分8,000円 ※当日1回の受講料は3,000円です

※本講座は、**オンライン実況講義のみ**での開催です。後に動画配信もあります。

法華コモンズ仏教学林 2024年度前期 集中講座全1回

**対面&実況**

## 臨終行儀の今一変貌する死と儀礼一

講師： 菊地大樹先生 × 大谷栄一先生

いま、人の死と葬送をめぐる常識が大きく変わりつつあります。この現況をうけて、菊地先生は当初「中世の臨終行儀」第5講として「近世往生伝・葬式仏教・ターミナルケア」を準備していましたが、より現在の臨終行儀の問題を深めるため、近代仏教研究の大谷栄一先生と共に、講義と対談の特別講義を開催する事となりました。臨終行儀の中世・近世・近代の変貌をふまえて、現代の死生観を問い直す画期的な論議の場にぜひご参加下さい。

【講義日】 **8月31日(土)** 開講：午後1時30分～5時30分(4時間)

13:30～13:40	挨拶・趣旨説明
13:40～14:50	第1講義 菊地大樹先生
14:50～16:00	第2講義 大谷栄一先生
16:15～17:30	質疑、対談、会場との討論

### 第1講義 臨終行儀の終焉？近代化？—近世往生伝から葬式仏教まで 菊地大樹先生

平安時代に始まり、中世には盛んにおこなわれた「臨終行儀」は近世にも続くが、その意味や儀礼の内容は大きく変質する。その一端は近世往生伝にみることができるが、じつは「往生伝」というジャンルは中世に立ち消えとなり、なぜか江戸時代に復活して多く語られるようになる。江戸期以降の仏教は「墮落」し「形式化」して、精神性を失ったというならば、なぜ往生伝が復活するのだろうか？臨終行儀を手掛かりに、今日の葬式仏教論再考へと視野を広げてみたい。

## 第2講義 現代仏教における「死のリバイバル」

大谷栄一先生

1980年代以降のビハラー運動を起点とし、近年のターミナルケアやスピリチュアルケアへの注目、臨床宗教師の創設、デスカフェや「死の体験旅行」の実践に見られるように、現代仏教では終末期のケアや死をめぐるワークショップへの関心が高まっている。本報告ではこうした動向を、近現代社会にみられる「死のタブー化」に対する「死のリバイバル」（トニー・ウォルターの言葉）の一環と捉え、現代仏教における「死のリバイバル」の意義を考えてみたい。

〈講師略歴〉大谷栄一（おおたに えいいち）： 東洋大学大学院博士課程修了。博士（文学）。現在、佛教大学教授。専攻は宗教社会学・近代仏教。著書に『近代日本の日蓮主義運動』（法蔵館、2001年）、『近代仏教という視座—戦争・アジア・社会主義—』（ペリカン社、2012年）、『日蓮主義とはなんだったのか』（講談社、2019年）、『増補改訂 近代仏教スタディーズ』（共編著・法蔵館、2023年）他。

〈講師略歴〉菊地大樹（きくち ひろき）：前出

【講義日】8月31日（土）／ 開場：午後1時～、開講：午後1時30分～

【受講料】1回4,000円 ※対面、オンラインとも同額になります

法華コモンズ仏教学林 2024年度前期 連続講座全6回 **対面&実況**

## 「『法華経』『法華文句』講義」

講師：菅野 博史 先生

### 【講義概要】

今年度の前期も、『法華経』『法華文句』の講義を継続します。『法華文句』は『法華経』の随文釈義の注釈書ですので、「注釈書読みの経典知らず」にならないためには、『法華文句』を読むときには、常に『法華経』の本文を読まなければなりません。現在、『法華文句』の本文を地道に読む機会はほとんどないと思われるので、この講義では、『法華文句』の本文をすべて読んでいきます。もちろん同時に『法華経』も読んでいきます。受講生のご希望がある限り、地道に続けていきたいと思っています。今期は「譬喩品」の随文釈義の部分を学習していきます。

★教科書『法華文句』Ⅲ（第三文明社、各冊2,530円）※コモンズ割引価格2,000円（受付にて）

★『法華経』はプリントを配布します

### 【講師略歴】

菅野博史（かんの ひろし）：1952年福島県生まれ。1976年東京大学文学部印度哲学印度文学科卒業。1984年東京大学大学院博士課程（印度哲学）単位取得退学。1994年文学博士（東京大学）。現在、創価大学大学院教授、（公財）東洋哲学研究所副所長。専門は、仏教学、中国仏教思想史。著書に『一念三

千とは何か—『摩訶止観』正修止観章—』（第三文明社）、『法華経入門』（岩波書店）、『中国法華思想の研究』（春秋社）、『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』『法華経—永遠の菩薩道—』（大蔵出版）、『中国仏教の経典解釈と思想研究』（法蔵館）など多数。訳書に、『法華玄義』上・中・下、『法華文句』（Ⅰ）～（Ⅳ）、『摩訶止観』（Ⅰ）・（Ⅱ）（以上、第三文明社）、『現代語訳 法華玄義』上・下（東洋哲学研究所）、『現代語訳 法華玄義釈籤』上・中・下二（松森秀幸と共訳、東洋哲学研究所）など多数。

【講義日】 全6回、時間（原則・最終月曜日）：午後6時30分～8時30分

第1回（第71講）	4月22日	第4回（第74講）	7月29日
第2回（第72講）	5月27日	第5回（第75講）	8月26日
第3回（第73講）	6月24日	第6回（第76講）	9月30日

【会場】 新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

【受講料】 1期6回分 12,000円 ※当日1回の受講料は3,000円です

## 「『摩訶止観』講義」

対面&実況

福神研究所主催 講師 菅野 博史 先生 ※『文句』講義と同日の午後3時半より

### 福神研究所主催 『摩訶止観』講義の再開のご挨拶

菅野 博史

『摩訶止観』の講義を開始したのは、2014年9月22日でした。福神研究所の主催で、新宿常円寺を会場として、毎月一回の講義を行ないました。五年半ほど続け、巻第五下の「若無、無不能生」（T46, 64c19）まで講義したところで、コロナ禍のために、講義を中断せざるを得なくなりました。2022年8月29日から『摩訶止観』講義を再開し、対面・オンライン実況の形式で進めています。毎月一回（原則的に、月末の月曜日）、午後3時半～5時半の2時間の講義といたします。

#### ●テキストについて

○基本テキスト：『摩訶止観』上下二冊（岩波文庫）

○参考図書：菅野 博史 著『一念三千とは何か—『摩訶止観』正修止観章—』第三文明社

※その他、必要な参考資料やレジュメはこちらで用意して配布いたします

#### ●開催日時：『法華経』『法華文句』講義 日と同日の、午後3時30分～5時30分

第1回（第87講）	4月22日	第4回（第90講）	7月29日
第2回（第88講）	5月27日	第5回（第91講）	8月26日
第3回（第89講）	6月24日	第6回（第92講）	9月30日

●会 場：新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

●受講料：1回2,000円（対面もオンラインも同額です、受講料の納入は毎回ごととなります）

※「対面は当日払い」予約が不要。／「オンライン」は予約が必要。

●オンライン(Zoom)実況の予約と受講について

① メールでオンライン受講の申込み（氏名・連絡先）をお送りください⇒ [koueizan@zenryu-ji.jp](mailto:koueizan@zenryu-ji.jp)

② 折り返し「『摩訶止観』講義の告知」欄のURLをお知らせしますので、Peatixからお申込み・受講料の納入をお願いいたします。お申し込み後は、毎月の開催案内をメールにて送ります。

主催：福神研究所 静岡県富士市今泉1-1-1 本國寺内 FAX：0545-52-009

## 年間《賛助会員》加入のお願い

法華コモンズ仏教学林では、本学林の趣旨に賛同して運営の維持に協力して頂ける「年間賛助会員」を募集しています。下記の要領にて受付けておりますので、ぜひご協力のほどお願いいたします。

### 【年間賛助会員 加入申込み】

個人会員 一年間1口(1万円) / 法人・団体会員 一年間1口(5万円)

### 《お申込み年度の特典》

- ① 個人会員で6口以上の方には、会員のみ使える年間フリーパス受講証を差し上げます
- ② 法人・団体会員では2口で、誰でも使える年間フリーパス受講証を差し上げます

※「年間フリーパス受講証」は、開設の全ての講座を一年間無料受講することができます。

●お申込み頂ける方は、下記の内容を書いて、FAX またメールにてお申し込み下さい。

★ 個人か法人か、また何口かを明記する。

★ 名前、年齢、住所、電話、ファックスまたメールアドレスを明記する。

メールアドレス⇒[hokkecommons@gmail.com](mailto:hokkecommons@gmail.com) / FAX 番号⇒ 042-627-7227

●直接にご加入・ご支援を頂ける方は、郵便振込用紙にて通信欄に口数をご明記の上、下記の口座にてお振込み下さい。

【口座名】法華コモンズ仏教学林 【口座番号】00150-7-634712

## 受講の申込について

受講申込の方は、この頁のコピーまたは別紙(チラシ)申込欄の各項目に御記入頂きまして、下記のファックス番号にご送信ください。申込用紙が届きましたら、「受講手続き書類」をお送りいたしますので、その手続きに従って1期分の「受講料」をお振込下さい。また「コモンズ口座の郵便振込票」をお持ちの場合は、通信欄に希望講座をお書きの上、振込票をお使いください。お振込を確認しましたら、「受講証」・「受講の手引き」そして領収書をお送りします。なお、メールで申込希望の方は、同様の内容をお書きの上、下記のアドレスに送信してお申し込み下さい。なお、受講者が極端に少ない場合は開講を見合わせますので、ご了承下さい。

メールアドレス ⇒ [hokkecommons@gmail.com](mailto:hokkecommons@gmail.com)

FAX 番号 ⇒ 042-627-7227 / ブログ ⇒ <https://hokke-commons.jp>

..... 申込欄 .....

《受講希望の講座の□をチェックして下さい(いくつでも結構です)》

- |  |              |
|--|--------------|
| <input type="checkbox"/> 集中講座「『日蓮遺文解題集成』の解説」(2回)       | 講師：山上 弘道     |
| <input type="checkbox"/> 一日集中講座「韓国仏教の諸相」(1回)           | 講師：佐藤 厚      |
| <input type="checkbox"/> 「仏教哲学再考②—「大乘起信論」を手掛かりにⅡ—」(4回) | 講師：末木文美士     |
| <input type="checkbox"/> 「歴史から考える日本仏教⑪ 中世の臨終行儀」(4回)    | 講師：菊地 大樹     |
| <input type="checkbox"/> 一日集中講座「臨終行儀の今」(1回)            | 講師：菊地大樹×大谷栄一 |
| <input type="checkbox"/> 「『法華経』『法華文句』講義」(6回)           | 講師：菅野 博史     |

上記、チェックを入れた講座の受講申込みをいたします

○氏名 \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 才

○住所 〒 \_\_\_\_\_

○電話 \_\_\_\_\_ Fax (mail) \_\_\_\_\_

2024(令和6)年 2月16日 発行 **法華コモンズ仏教学林 事務局**

192-0051 八王子市元本郷町 1-1-9 善龍寺内 FAX 042-627-7227